

標 題 出雲ブロッコリー一部会が美味しまね認証制度の取得に向けた研修会を開催

(ダイジェスト)

J Aしまね出雲ブロッコリー一部会（部会員数68名）は、8月4日に安全・安心への取り組み推進の一環としてGAPと美味しまね認証の研修会を開催されました。研修後に部会長から「出雲ブロッコリーの安全・安心を更にアピールするためにも美味しまね認証を全員で取得しよう」と提案があり、部会員からも「よいことだから是非やってみよう」など取り組みに向けて積極的な意見が多く、有意義な研修会となりました。

当日は、県農産園芸課食の安全推進室の日下企画幹が講師となり、参加された部会員45名を対象に「そもそもGAPと何か」から始まり、実際に農薬保管の写真を見ながら、改善ポイントを参加者と一緒に考えていくなど、初めての人でもわかりやすい内容でした。また、2020オリパラの食材調達基準をクリアしている「美味しまね認証制度」についてもその概要を学び、ここ数年同認証の取得件数が増加している状況や取得者の評価として、取引先の信頼が向上すること、従業員の安全意識が高まること、経営改善につながったことが挙げているなどの説明も受けました。

参加者はメモを取るなどして、説明を真剣に聞き入り、特に農薬の在庫管理に関心が高く、講師から、農薬管理簿や生産履歴（農薬使用記録）を記帳し、書類と実際の在庫量が一致するように管理することが必要であることやさらに、農薬を必要最小限に保管することが可能となることや整理整頓により探す時間が削減され経営改善につながることも説明されると、参加者みんなが納得された様子でした。

最後に部会長からのあいさつで、出雲ブロッコリーは「かあちゃんブロッコリー」として評価は高いが、さらに安全・安心をアピールする意味でも美味しまね認証を全員が取得していこうと提案がありました。

研修会後に参加者からは「よいことだから是非やってみよう」とか「ブロッコリー一部会は団結力が良いので、他の部会より早く取得せねば」とか「整理整頓されて、探す時間が減るのはいいこと」など取得に向けて意欲的な意見が多かった一方で、「よいことはわかるけど、実際やるとなると難しいのでは？」や「自分にできるかな？」という声もありました。

今後は生産者の不安や消極的な考えを解消していきながら、研修会で高まった機運が取得に結び付くように、関係機関と一緒に頑張って積極的に支援していきます。



研修会の風景